

各加盟競技団体長 殿

公益財団法人沖縄県スポーツ協会
理事長 渡嘉敷 通之
(公 印 省 略)

国民体育（スポーツ）大会アンチ・ドーピング教育義務化に係る都道府県競技団体主催
研修会等の取り扱いについて（通知）

平素より、本県スポーツの振興と本会諸事業につきましては、格別なご理解とご協力を賜り厚く
お礼申しあげます。

さて、標記のことについて、公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）に問い合わせたところ、都
道府県競技団体（PF）主催の研修会等を受講した場合も、国体・国スポ本戦参加前のアンチ・ドー
ピング教育履歴の実績となることを確認しました。

これを受け、本会としましても、PF独自のアンチ・ドーピング教育活動の実施を推奨いたします。

各加盟競技団体におかれては、アンチ・ドーピング教育の受講漏れによる国体・国スポ参加資格
取り消しを防ぐと共に、健全なスポーツ活動の一助となるよう、各競技の予選会等、選手や指導者、
保護者が集まる場における PF 独自の研修会等の積極的な実施をお願いいたします。

なお、実施の際は下記の事項にご留意ください。

記

1. 主催団体：都道府県競技団体（PF）
2. 実施時期：各競技種目の国体・国スポ参加システム登録完了前
3. 実施内容：アンチ・ドーピングに関する内容
※国民体育大会アンチ・ドーピング教育活動実施要項に基づくこと。
例（1）ファーマシスト等専門家による研修会
例（2）JSPO や JADA 作成の教材を活用した研修会
例（3）ウェビナー動画を活用した研修会
4. 実施記録：研修会等を実施する際は受講者リストを作成し、開催日時と合わせ実施
団体に保管すること。（別添：様式1をご活用ください。）
5. 受講履歴：本国体・国スポ参加者（選手・監督・ドクター・トレーナー）について
は、各自の教育履歴として選手カード・教育履歴カードへ記入させること。